

◆ News Release ◆

株式会社阪急交通社

阪急交通社グループ 旅行概況(5 月分)について

2026 年 5 月の旅行取扱実績について、下記のとおりお知らせします。

株式会社阪急交通社

(単位: 千円)

区 分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	9,142,092	15,087,366	60.6%
国内旅行	17,781,336	17,858,577	99.6%
訪日旅行	1,242,419	1,162,947	106.8%
合 計	28,165,847	34,108,890	82.6%

【概況】

5 月の営業概況は、総取扱額 281 億 6,584 万 7 千円、前年同月比 82.6%となりました。

海外旅行市場は、2026 年 5 月の出国日本人数が前年同月比 104.7%となったものの、前月比では 3.7 ポイント減少し、回復には依然として不安定さが残る状況です。

このような状況の中、当社はゴールデンウィークの需要獲得に注力するとともに、堅調なアジア圏の募集告知を強化しました。その結果、テレビ通販を実施したインドネシア・バリ島の取扱人数が前年同月比 4 倍と大きく伸長しました。また、インド、マレーシア、韓国などの需要が堅調であったほか、外国船による日本発着クルーズも大型連休を中心に好調でした。

一方で、5 月からの燃油サーチャージ値上げに伴う 4 月の駆け込み需要の反動を受け、当月の海外旅行の取扱高は 91 億 4,209 万 2 千円、前年同月比 60.6%となりました。なお、4、5 月累計の取扱高は前年比 97%となっています。

国内旅行は、観光庁の宿泊旅行統計調査(第 1 次速報)によると、2026 年 5 月の日本人延べ宿泊者数が前年同月比で 98.6%と前年を下回り、市場の停滞が継続しています。一方で、ゴールデンウィーク期間中の JR 各社および航空2社の旅客数は前年を上回り、大型連休への需要は堅調に推移しました。

このような状況の中、当社はゴールデンウィーク需要を取り込むため、日帰りバスツアーのラインナップを拡充したほか、雪の大谷や新緑の上高地、東北の観光素材を活かした商品企画を強化しました。その結果、北陸・甲信越エリアでは、立山黒部アルペンルートと上高地・白川郷をめぐるコースが伸長しました。東北では、「秘湯」や「絶景」をめぐり、旬の「味覚」を味わう周遊型商品が好評を博しました。加えて関東では、大相撲観戦や歌舞伎鑑賞などのエンターテインメントと観光を組み合わせた企画が大きく伸長しました。

国内旅行の取扱高は、177億 8,133 万 6 千円、前年同月比 99.6%となりました。

株式会社阪急阪神ビジネストラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	2,119,363	2,343,547	90.4%
国内旅行	165,817	185,164	89.6%
訪日旅行	7,416	23,408	31.7%
合 計	2,292,597	2,552,121	89.8%

【概況】

5 月の営業概況は、総取扱額 22 億 9,259 万 7 千円、前年同月比 89.8%となりました。

海外旅行は、業務出張が堅調に推移したものの、5 月からの燃油サーチャージ値上げに伴う 4 月の駆け込み需要の反動を受け、前年同月比 90.4%にとどまりました。

国内旅行は、MICE 案件の取扱いは堅調だったものの、業務出張が一巡したことで、前年同月比 89.8%となりました。

2社合計取扱額

株式会社阪急交通社、株式会社阪急阪神ビジネストラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	11,085,413	17,099,970	64.8%
国内旅行	17,914,595	17,998,081	99.5%
訪日旅行	1,249,835	1,186,355	105.4%
合 計	30,249,843	36,284,406	83.4%

※2 社間の取引を相殺したものです。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社阪急交通社 広報部

〒105-0004 東京都港区新橋 3-3-9 TEL:03-6745-7333 / FAX:03-6745-7351

〒530-0001 大阪市北区梅田 2-5-25 TEL:06-4795-5711 / FAX:06-4795-5724